



もっぱら「専ら派遣」から専ら社員に

派遣の多くは「専ら派遣」

日本には、1986年の派遣法施行以来、数多くの派遣会社が設立されていますが、その大半は、大企業等が人件費を抑える目的で全額出資の人材派遣子会社を設立し、親会社・グループ会社への派遣、つまり「専ら派遣」になっています。

「専ら派遣」は違法です

「専ら（もっぱら）派遣」とは、派遣元事業者が労働者を特定の1社または複数社に限定して派遣することです。

派遣社員はあくまでも一時的な労働力として用いられることが前提であるため、派遣が特定の企業の労働力確

保源となることにより正社員の雇用を阻害することになると考えられ、労働者派遣法により禁止されています。

日立グループにも多くの派遣業の子会社があり、関連のグループ企業に派遣を行っています。

日立地区でも、HITES（日立茨城テクニカルサービス）やRSC（日立国分リソースサポート）は、日立事業所などの特定の親会社・グループ会社へ集中的に派遣をしています。

違反した場合は許可の取り消し

人材派遣事業は「専ら派遣」を行わないことが事業許可条件になっている為、違反した場合には、許可の取り消し（派遣法第14条1項）、事業停止命令（派遣法第

14条2項）の対象ともなります。

正社員化推進のため積極的な取り組みを

3月28日に成立した「改正労働者派遣法」で、「関係派遣先」に労働者派遣をするときは、関係派遣先への派遣割合が8割以下になるようにしなければならなくなりました。

日立関連職場では、一部の派遣社員を正社員化や請負化する動きがあり、この改正への対応ではと思われる。「改正」への対応を機会に労働組合は、会社が「専ら派遣」の解消と派遣・請負労働者を正規社員にするように、積極的な取り組みを行ってほしい。

派遣社員の社員化と待遇改善の提案

- (1) 1年以上勤務し、正社員を希望する全員を正規採用すること。
- (2) 原発事業の作業減などを理由にした「派遣切り」を絶対させないこと。
- (3) 派遣・請負労働者の賃金改善・時給アップ。日立関連で働くすべての労働者を電機・情報産業の年齢別最低賃金以下で働かせない。

日立に官僚トップ元経産次官 天下り

元経済産業事務次官（62）が、日立製作所の社外取締役就任しました。2010年7月に経産省を退官後、2年近くたったとはいえ、官僚トップの関連業界への「天下り」は、国民の不信感を招くものです。

望月氏は08年7月には、経産事務次官に就任。10年6月、当時54基だった原発を「2020年までに9基」「30年までに、少なくとも14基以上」新增設し、原発依存度をさらに高める原発推進の「エネルギー基本計画」をまとめた責任者です。民主党の直嶋正行経産相（当時）のもとで、電力、原子炉メーカーと一体となって原発の海外輸出を推進する国策会社「国際原子力開発」の設立（10年10月）にも力を尽くしました。

日立懇 <発行>2012年7月号 <日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

★連絡先（茨城）090-8747-6239（馬場）

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net



出張者を無視した制度

旅費制度改定が7月から実施され、出張での宿泊予約・精算は「楽天トラベル“Racco”」を利用することになった。“Racco”は、大手宿泊予約検索サイト「楽天トラベル」が法人向けに提供するサービスで、出張先の最適（安価）な宿泊施設を見つけてくれるというものです。旅費制度では、宿泊施設は実費精算上限まで利用可能となっていますが、個人の選択の余地はなくなりそうです。また、事前に全従業員対象に実施した「eラーニング」では、『旅費は経費であり可能な限り節約することが必要』『上長は、できるだけ安価な宿泊施設を利用するように部下を指導する』『午前6時前に出発や午後9時以降帰着の場合でも、自宅で食事した場合は、出

張日経費は減額』などあり、「上長のチェックでもめるのでは」「ここまでやる必要があるのか」「がんばらめの出張ではやる気でない」の声。（大みか）

大雨対策して！

梅雨に入り大雨のときは大変です。平側門の常磐線踏切は水溜りで池のようになります。工場内の平門近くの道路も水溜りができます。飛び越えようにも広くて飛び越えられず濡れてしまいます。建屋内も雨漏りして、大雨予報のときは製品にビニール掛けます。日立工場では保全係があり建屋内の雨漏りなどは無いそうです。（国分）

蒸暑い

経費節減でエアコンの設定が28度になっていますがエアコンの調子がいまいちで、パソコンが起動しているため事務室などはむんむんして午後からなどは気持ち悪くなるほどです。又震

災で本館から人が移動してきたので、すし詰め状態の職場もあります。能率も下がり健康面にも不安があります。これから本格的な夏を迎えます、

「時間を切って設定温度を下げる」「天井に扇風機を取り付けて空気の移動をはかる」などの対策があつてもいいのではないのでしょうか？「暑いので現場の空調室に来たほうが涼しいよ」との声も。（国分）

他人事でないルネサス

業績不振の半導体大手、ルネサスエレが1万4千人の人員削減を検討していることを受け、ひたちなか市の生産拠点の那珂工場でも動揺が広がっています。職場では「冬のボーナス見送りや賃金カットは発表されたが、人員削減について何の情報もない」と不安や不満の声があがっています。（日）や（お）の原子力発電関連の職場では「仕事が多くなった。この先不安で他人事ではない」

の声も。（大みか）

年休増加が一番

7月1日付けでA Eパワーを定年退職しRSC経由で再雇用されている人たちが日立製作所のシニア社員として直接雇用されるようになりました。

「年休が増えて助かった」「気楽に医者にかかれる」「今から定年を迎える人たちにとってもいい環境ができた」（国分）

「むくむく」の樹

受変製の建屋の間にある桜の樹は大きくなりすぎて、夏になると毛虫が発生し通るたびに落ちてきて建屋内まで入り込む状態でした。6月下旬の午前中にチェーンソーの音がしていたと思ったら昼食時には樹がなくなり建屋と建屋の間が明るくなりスッキリしました。「さくら」は公園や広場・河川敷の樹だなあと思っ

原発再稼働に思う

電力会社や原発メーカーとその労働組合の意向もあり、電力不足や経済性から安全対策を先送りしたまま大飯原発の再稼働を決めた政府には、あきれてしまいます。日立はリトアニアやベトナムなどへ「より安全な」原発の海外輸出を積極的に推進していますが、

事故が起これば国内の原発とは違って製造者責任も負わなければなりません。一企業で責任を取れるものではありません。今こそ、ドイツのシーメンスやRWEのように原発からの撤退を決意し、自然エネルギー、再生可能エネルギー分野に力を注ぎ、日立の企業理念である「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献」するときにではないか。

